

住まいの寸法と 福祉用具の進化

～ 建築と福祉の現場の声に学ぶ ～



介護保険・在宅介護の現場における住環境整備の重要な柱である「福祉用具」。今回のセミナーでは特に「福祉用具の進化」を「住まいの寸法（制約）」の面から見つめなおしてみます。

現在、高齢者が住んでいる家の大半は、近年のバリアフリー設計の考え方が浸透した住まいではなく、廊下も、開口部の有効開口も狭い、そんな制約だらけの住まいですが、例えば福祉用具レンタル品目の車いす・ポータブルスロープなどは、10年前には活用不可だった在宅の現場にも適応できる製品が、次々に生み出されています。

それぞれに「細やかな工夫」がされているこれらの製品は、福祉用具プランナー・福祉用具専門相談員の方々が「現場で適用しないで困ったこと」がメーカーへのフィードバックの結果、製品に反映され、「改良」が重ねられた成果だと思えます。

そしてこれらの改良点のかなりの部分が、「既存建築の制約（有効開口、有効幅員、段差、高低差）をクリアできる」、という点にあります。

現場で豊富な実務経験のある二人の講師の対談を通じて、バリアフリーの住まいづくりに携わる専門職の人たちに、実践で役立つ最新情報をお伝えいたします。

2020年1月25日（土）15:00～17:00 （受付 14:40～）

中山 敦 氏 福祉用具の専門家
(なかやま あつし)

株式会社茨城福祉サービス 副社長
福祉用具専門相談員 福祉住環境コーディネーター2級
茨城県内全域で介護保険の福祉用具サービス、及び、補装具のニーズに応える。在宅介護の現場を支える実務家。(46歳)

小川 仙月 氏 建築の専門家(聞き役)
(おがわ せんげつ)

高齢社会の住まいをつくる会理事 小川バリアフリープラン代表
二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級
茨城県南中心に介護保険の住宅改修専門で取り組む。
中山氏とは在宅介護の現場の住環境整備で連携しながら取り組むこともある。(55歳)

会場

東中野「テラハウス ICA」講義室

東京都中野区東中野4-2-3

- JR中央・総武線「東中野駅」東口（北側）下車駅前
- 都営地下鉄大江戸線「東中野駅」A1 出口下車徒歩1分
- 東京メトロ東西線「落合駅」2b 出口下車徒歩10分

定員：30名（先着受付）当日支払い

参加費：一般 3,000円（高住会会員/学生 2,000円）

※本セミナーはCPD（建築士会継続能力開発）制度による単位認定を受けています。（2単位）
対象の方は、当日の受付時にCPD番号（または建築士番号・施工管理技士番号）をお知らせ下さい。

↓お申込みはこちらから 高住会事務局 宛

サイト

<https://www.kourei-sumai.com/06event/seminar/index.html>

Eメール

s-uketsuke@kourei-sumai.com

1/17までにサイトのフォームまたはEメールからお申込み下さい



●お名前（ふりがな）	●ご所属 [高住会会員 学生 一般] ←○で囲む
●TEL	●E-mail

（上記欄の必要事項をお知らせ下さい。写真撮影したものをメールに添付して頂くことも可能です）

主催：NPO法人 高齢社会の住まいをつくる会

〒170-0011 東京都豊島区池袋本町3-19-5-303 <https://www.kourei-sumai.com>

後援：一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

